

1. 科目名 (単位数)	レクリエーションワーク (2単位)	3. 科目番号	GEHL1102
2. 授業担当教員	相原 豊		
4. 授業形態	実技を中心に実施し、適宜講義やディスカッションを行う。	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	これからの社会の課題としてのレクリエーションについて学習する。まず、ライフステージ (幼児・児童・青年・老年・障がい者等) に対応したレクリエーション支援の意義について理解する。そして、多様な場面での、対象者にふさわしいレクリエーション支援の技術 (個別・グループ・環境) を実践的に身に付け、活用できるようにすることを目的とする。		
8. 学習目標	本講義を履修することによって以下の項目を達成することを目標とする。 1, 日本レクリエーション協会公認指導者資格レクリエーション・インストラクターを取得するために必要な知識・技術を得る。 2, コミュニケーション・ワークの楽しみ方を体験し、知ることができる。 3, 対象者に合わせたレクリエーション支援を企画し、実践することができる。 4, レクリエーション支援を実践することによって、自分自身からまわりの人へレクリエーションを発信できるようになる。		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	課題1 レクリエーションの基礎的理論とレクリエーション実施案の作成 課題2 レクリエーションの企画を作成と、その企画書に沿った運営の実施		
10. 教科書・参考書・教材	必要に応じて適宜資料を配布する		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. レクリエーションの特質を捉えて、自己への挑戦・前向きな姿勢 (出席状況含む) を評価規準とする。 2. 実技発表への取り組み姿勢と分かりやすい表現・明瞭かつ論理的なレポートを作成できたか。 3. 授業を振り返り、レクリエーションへの考え方や自己への課題を前向きに捉えることができたか。 ○評定の方法 1. 授業への積極的参加態度 50% (出席状況や意見発表を含む) 2. 実技発表・課題レポート 40% 3. 振り返りのレポート 10% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。 以上の結果を総合して評価をする。		
12. 受講生へのメッセージ	本講義はレクリエーションの基礎的な知識、技術から現場で必要となる応用的な知識、技術までを知ることを行いたいとしています。まずはレクリエーションを体験し、楽しみ、その経験から自らの力で企画や運営をできる力を培っていきます。 実技や演習では、運動するためのふさわしい常識的な服装で参加してください。ジーンズやスウェット等は不向きです。また室内では体育館シューズが必要です。		
13. オフィスアワー	授業内で周知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション：概要や進め方、目的確認	事前学習	レクリエーションとは何かを考える
		事後学習	レクリエーションの目的をまとめる
第2回	様々な実践的レクリエーション① 館内運動系	事前学習	配布された資料をまとめる。
		事後学習	実施されたレクリエーションのポイントをまとめる。
第3回	様々な実践的レクリエーション② 野外・館内運動系	事前学習	配布された資料をまとめる
		事後学習	実施されたレクリエーションのポイントをまとめる。
第4回	様々な実践的レクリエーション③ 野外運動系	事前学習	配布された資料をまとめる
		事後学習	実施されたレクリエーションのポイントをまとめる。
第5回	ニュースポーツレクリエーション (導入)	事前学習	配布された資料をまとめる
		事後学習	実施されたレクリエーションのポイントをまとめる。
第6回	ニュースポーツレクリエーション (実践)	事前学習	配布された資料をまとめる
		事後学習	実施されたレクリエーションのポイントをまとめる。
第7回	様々な発達段階を踏まえたレクリエーション	事前学習	配布された資料をまとめる
		事後学習	実施されたレクリエーションのポイントをまとめる。
第8回	レクリエーション企画① 幼児・児童期・青年期対象	事前学習	グループでレクリエーションの立案
		事後学習	グループでレクリエーションの立案
第9回	レクリエーション企画② 老年・障害者対象	事前学習	グループでレクリエーションの立案
		事後学習	グループでレクリエーションの立案

第10回	レクリエーション大会① 第1グループリーダー	事前学習	レクリエーション大会の準備をする
		事後学習	レクリエーション大会の内容をまとめる
第11回	レクリエーション大会② 第2グループリーダー	事前学習	レクリエーション大会の準備をする
		事後学習	レクリエーション大会の内容をまとめる
第12回	レクリエーション大会③ 第3グループリーダー	事前学習	レクリエーション大会の準備をする
		事後学習	レクリエーション大会の内容をまとめる
第13回	レクリエーション大会④ 第4グループリーダー	事前学習	レクリエーション大会の準備をする
		事後学習	レクリエーション大会の内容をまとめる
第14回	レクリエーション大会⑤ 第5グループリーダー	事前学習	レクリエーション大会の準備をする
		事後学習	レクリエーション大会の内容をまとめる
第15回	レクリエーション大会ーまとめー	事前学習	各レクリエーション大会の内容をまとめる
		事後学習	より良いレクリエーションの内容、方法を考察しまとめる
15. 実務経験を有する 教員特記事項	オリンピック体操選手としての出場経験、また体操教室（体操クラブ）の体操指導の実務経験を活かし、「7」に示す講義概要に則した講義を行う。		